



令和 8年 4月 30日(木)
静岡 大学 教育学部
附属 静岡 小学校
2年 学年 だより 5月号



新学期が始まって1か月



先日は、お忙しい中、参観会・懇談会、面談など、多くの保護者の皆様にご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。保護者の皆様と顔を合わせてお子様の話をすることで、私たちの知らない一面を知ることができ、新たな関わりを考える機会になりました。改めて1年間よろしくお祈いします。

新学期が始まり、1か月が経とうとしています。新学年、新学級がスタートする中で「1年生にやさしいお兄さんになりたい」「たくさん計画できるかっこいい2年生になりたい」など、学年が1つ上がったことに思いを膨らめ、自分の目標を立てていました。また、各学級では係決めや学級のめあて決め、キャプテン決め、1年生との交流会計画など、クラスの仲間と話し合う機会がたくさんありました。話し合いの中で見られた子どもの姿を紹介させていただきます。

学級のめあて決め

「どんなクラスにしたい?」という投げかけに対し「みんなが支え合うクラス」「ケンカなしのクラス」「しあわせいっぱいクラス」「元気いっぱいクラス」など多くの意見が挙がりました。多くの意見が挙がったことで、クラスのめあてとして1つにするために、意見を絞る方へと話し合いの流れが傾いていく中、ある子が手を挙げて次のようなことを言いました。「すてきな意見がたくさんだから多数決とかで決めちゃうのはもったいない気がする。1つ1つに大事な思いがあると思うから、思いが似ている意見をくっつけたりして決めてみたい」。クラスのめあてを決めるため、ある程度まとめていかなければならない中で、仲間の意見を認め、それを大事にしていこうとする発言だったと思います。その後、「支え合うってみんなのしあわせになるよね」「ケンカがなかったら、それもしあわせだよ」「しあわせがいっぱいになれば元気もいっぱいにもなると思う」など、子どもの視点が「どの意見がいいのか」から「この意見にはどんな思いがこめられているのか」に移っていったように感じました。この1時間の話し合いではめあては決まりませんが、子どもは話し合いを通じて、それぞれがどんな思いを大切にしているのかを感じ取っていました。仲間の意見を認め、大事にしようとする姿が素敵だと思いました。

キャプテン決め

キャプテン決めでは、まず1年間の学校行事を確認し、どんなキャプテンがあるといいのかを話し合い、「運動会」や「実習生」「つどい」などが挙がりました。その後、やりたいキャプテンにネームプレートを貼ることになったのですが、ある子が黒板の前でじっと考えていました。しばらくしてネームプレートを貼ったので「どうしてこっちにしたの?」と聞くと「(六送会と)つどいとで悩んでたけど、つどいはキャプテンじゃない側でキャプテンに協力するのもいいかもって思った」と話してくれました。キャプテンではなくても、協力し共につくっていこうとする姿が素敵だと思いました。また、キャプテンになった子の中には、「先生!プールの最後の授業っていつ?」「つどいつどいつやるの?」と見通しをもち、自ら動き出そうとしている子もいました。これまでの経験から自信をもち思いを膨らめたり、やりたいことを明確にしたりしているように感じました。

今月は、実習生を迎える会・送る会や運動会などさまざまな行事や学習が控えています。行事や学習を通して、自分と向き合ったり、仲間と協力したりすることのよさを見つけ、1つ1つの経験が成長へとつながっていくことを願い、支えていきます。ご家庭でもお子様のサポートをお願いします。